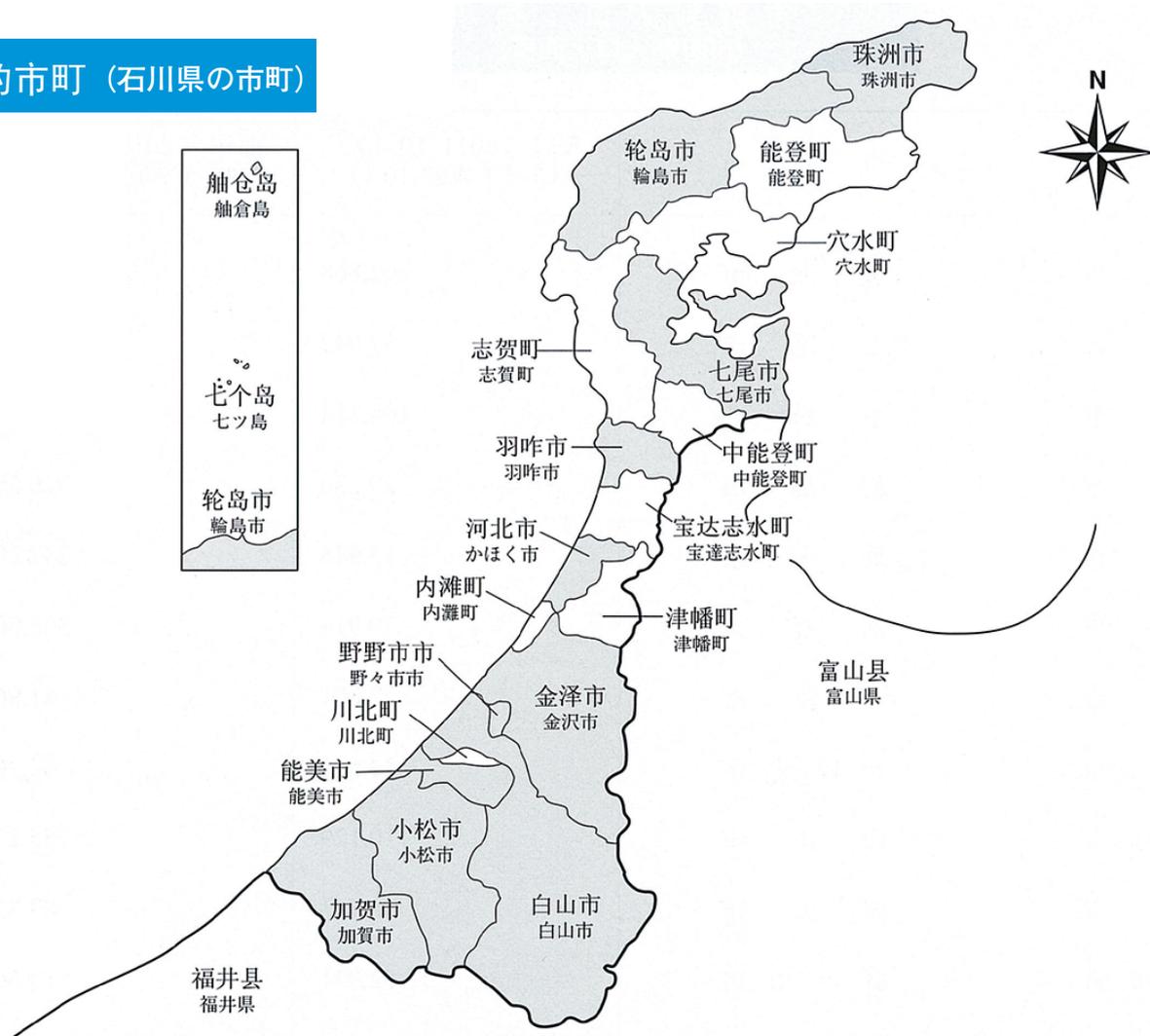


石川县的市町 (石川県の市町)



县 鸟
(黑 鷲)
県 鳥
(イヌワシ)



1965年1月1日制定

日本最大の鷲，生活在白山连绵山峰，展开双翅可达两米。全身呈偏黑的茶色，在陡峭的山洞间自由翱翔的雄姿很有气势，英勇的姿态和勇猛果敢的天性彰显出一种博大宽广，勇往直前的气魄。据推测有30~40只鷲栖息在石川县内，而在日本全国也总共仅有300只左右，因此及其珍贵。

昭和40年1月1日指定

白山連峰に生息する日本最大級のワシで、翼を広げると2mにもなります。全体に黒っぽい茶色をしており、切り立った谷間の空をゆうゆうと飛んでいる姿は、貫禄があり、その雄々しい姿と勇猛果敢な性質からは、広大・進取の気風が感じられます。県内には30~40羽が住んでいると推定されますが、全国的に見ても300羽くらいしかいないことから、非常に貴重です。

县 树
(当 桧)
県 木
(ア テ)



1966年10月1日制定

以打造绿色环境和提高爱护树木的意识为目的，从县民中征集而定的。多生长在能登地区，是石川县独有的造林树种，多用于家具，建筑材料和轮岛漆器木胎。“Ate”这一名字是北陆地区对罗汉柏的叫法。

昭和41年10月1日指定

緑の環境づくりと愛樹思想の啓発を目的に県民から公募し、指定されました。能登地方に多く生息し、本県独特の造林樹種で家具、建築材や輪島漆器の木地にも多く使われています。「アテ」の名はヒノキアスナロの北陸での地方名です。

乡土之花
(黑百合)
郷土の花
(クロユリ)



1954年3月19日制定

黑白百合被NHK（日本放送协会）评选为“乡土之花”。多生长在灵峰白山的弥陀之原和室堂平附近（海拔2,300米~2,500米处）。极耐风雪，开花时可爱迷人，广受县民喜爱。

昭和29年3月19日決定

NHKにより、「郷土の花」として選ばれたものです。霊峰白山の弥陀が原、室堂平付近（標高2,300~2,500m）に多く自生しています。風雪に耐え、可憐に美しく咲くクロユリは、広く県民から親しまれています。